

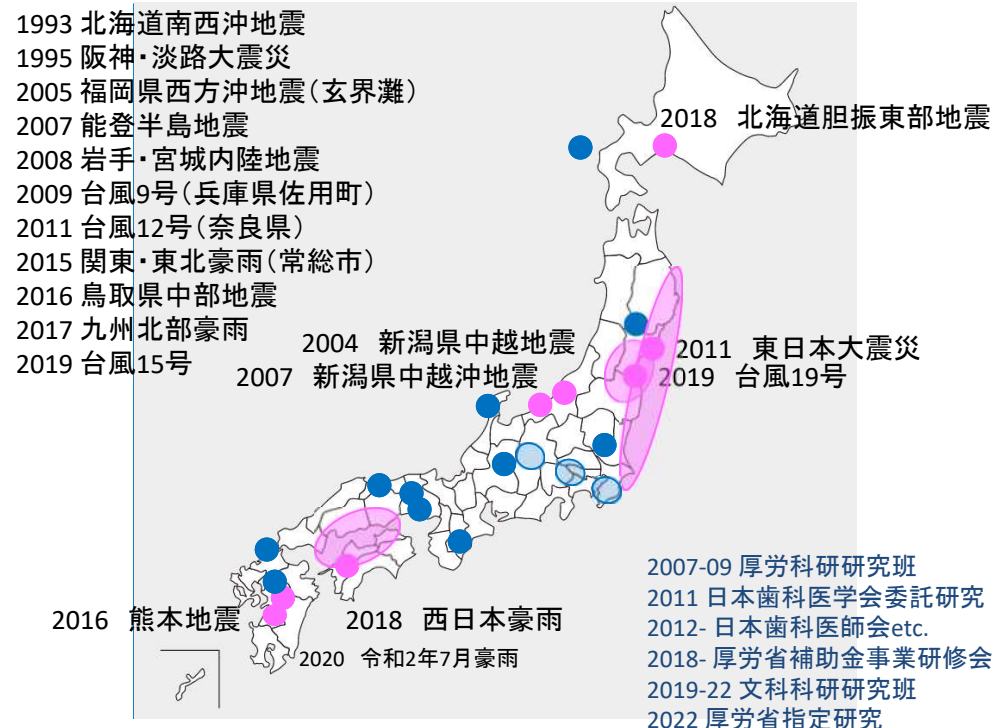
令和4年度 障がい者(児)歯科医療対応力向上研修会
災害時の障がい者(児)歯科対応について

災害時の障がい者(児)における 健康課題と歯科対応 ～誰もが健康で生活できる機会を持ち続け られる地域づくりに向けて～

2022年1月9日(月・祝) 10:00～13:00(うち50分)

徳島県歯科医師会館 講堂

東京医科歯科大学 救急災害医学分野 非常勤講師(客員教授)
千葉大学 大学院 医学研究院 法医学 特任研究員
岩手医科大学歯学部・長崎大学歯学部 非常勤講師
日本災害時公衆衛生歯科研究会 世話人
中久木 康一
nakakuki@biglobe.jp



No taping, No Posting
お顔、お口は



本オンライン研修会における映像・音声の、
撮影・録音・画面キャプチャーなどの保存は、
禁止します
一部または全部を、無断で複製・二次利用・
公開などする行為は、著作権法違反に
問われる場合があります

Menu

- 災害と障害者
- 災害時の障害者と歯科
- 歯科における災害時対応の体制

Menu

- 災害と障害者
- 災害時の障害者と歯科
- 歯科における災害時対応の体制

東日本大震災の障害者死亡率、全体の2.5倍 逃げ遅れた可能性

日本経済新聞 2012年7月30日 10:54

障害者支援団体「日本障害フォーラム宮城」が、宮城県のデータを基に障害者の犠牲者数を調査していない仙台市と亶理町を除く13自治体の数値をまとめた資料から、共同通信が集計

2012年3月時点で13自治体の住民 62万6926人

震災犠牲者数 8499人(死亡率 1.4%)

震災前の障害者手帳所持者 計2万9185人
(複数の手帳を持つ重複所有者含む)

重複を除く死亡届実数 1027人(のべ数1035人)(死亡率 3.5%)

※ 女川町15.6%(手帳所持者520人中81人)、南三陸町13.3%

手帳種類別: 身体障害者3.9%、精神障害者3.1%、知的障害者1.5%

福島県沿岸10自治体: 障害者手帳所持者の死亡 119人(死亡率 0.46%)

「自然災害はみなに平等に訪れるが、人的被害の結果は平等ではなかった」
(フォーラム宮城 株木孝尚事務局長)

高齢者の被害率には性差や地域差があった

- 70代では人口構成割合よりも約2倍から3倍、80代では約2.5倍から3.5倍の高齢者が亡くなっていた
- 高齢の男性の方が女性よりも、人口構成割合に比べてより多く亡くなっていた。
- 人口割合に比べて高齢者の死者割合は、宮城で最も高く、続いて福島、そして岩手の順となっていた。

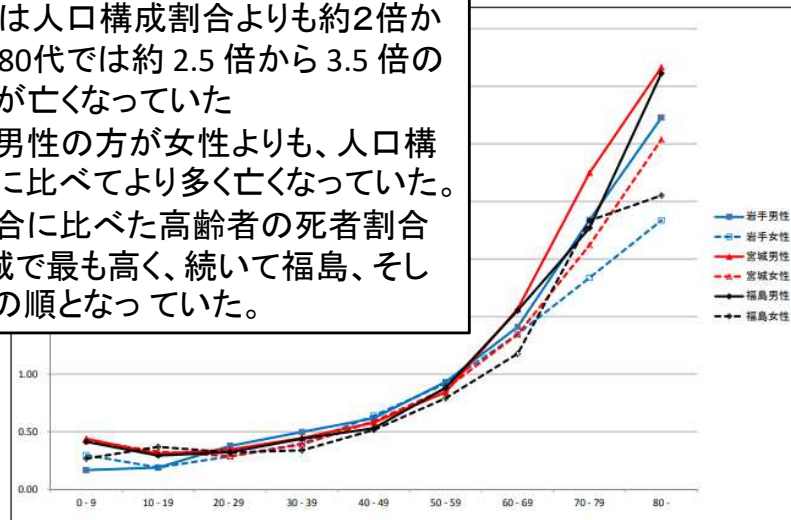


図2 県および性別の年齢別人口構成割合に対する死者構成割合の比(対年齢別人口構成割合)

障害者の死亡格差は宮城県で倍近くと大きく(1.92倍)、 その一方で岩手(1.19倍)と福島(1.16倍)で小さい

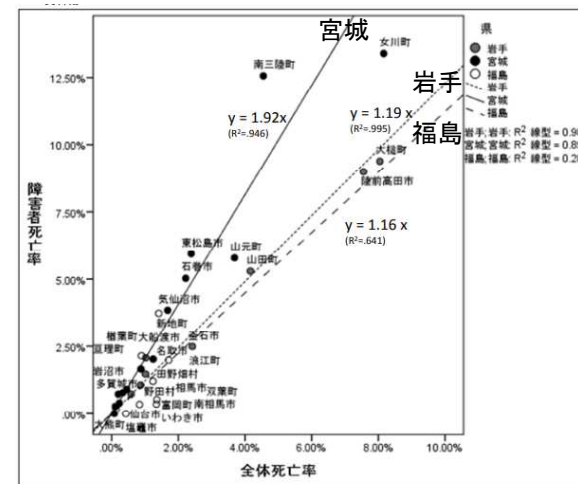
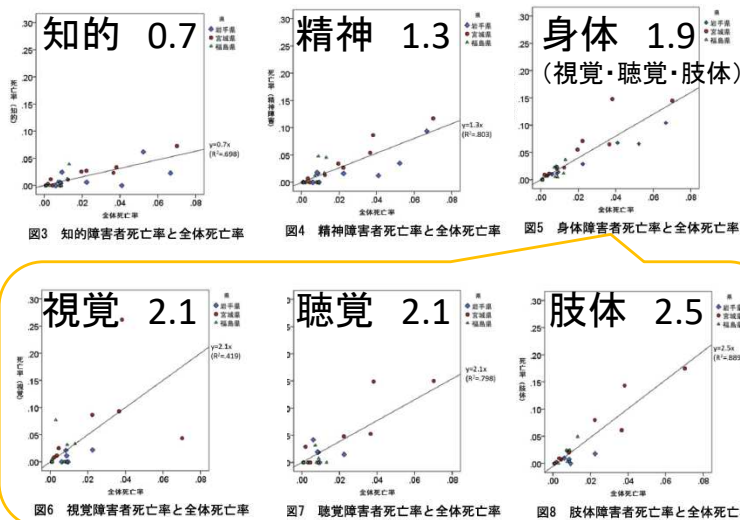


図3 障害者死亡率に対する全体死亡率の関係

県	福祉施設等入所者割合 (平成21年度, %)			
	障害者支援施設	身体障害者更生援護施設	知的障害者援護施設	精神障害者社会復帰施設
岩手	2.3	0.8	9.2	1.0
宮城	0.3	0.4	17.7	0.8
福島	0.9	0.4	10.4	1.0

障害種別の死亡率と全体死亡率



各種身体障害者の死亡率は、知的障害者死亡率と精神障害者死亡率に比べると係数が高い

東日本大震災における市町村別の死者集計データを用いた分析による障害者と高齢者の死者発生因に関する研究, 地域安全学会論文集, 18_241-250, 2012

災害時要配慮者(要援護者)

平成25年6月 災害対策基本法改正

災害時要配慮者

防災施策において特に配慮を要する方(要配慮者)

高齢者・有病者
身体・知的・精神障害者
乳幼児・妊産婦
外国人
旅行者
等

避難行動要支援者

災害発生時の避難等に特に支援を要する方
避難行動要支援者名簿の作成を義務付け

個別避難計画の作成努力義務

令和3年5月 災害対策基本法改正

“亡くなった障害者等”と“助かった障害者等”の相違点

- 避難行動要支援者は**自宅での垂直避難、近隣宅への避難すら難しい**ことが明らかになった。そして、**誰ひとり一人では避難する者はいなかった**。
- 誰もが助かる社会を実現するには、正しいリスクの認知(自助)と日常の近隣と関係性(共助)の必要性が改めて確認された。そして個別避難計画策定(公助)などは、自助や共助を促進する機会として取り組む必要がある。

避難行動要支援者の実態と課題 - 2018年西日本豪雨 倉敷市真備町の事例から - 日本福祉のまちづくり学会 福祉のまちづくり研究, 第23巻, P15-24, 2021年12月1日

“亡くなった障害者等”と“助かった障害者等”の相違点 亡くなった人の実態

- 真備町内で亡くなった**51人の内、45人(約88%)**が65歳以上であり、75歳以上が31人(約61%)を占めている。65歳以下の死亡者6名の内、2名(親子)は知的障害者・児であった10)。
- また亡くなっていた場所の多くは、家屋内43人(約84%)であり、**1名を除いて全員が1階部分で亡くなっている**。

避難行動要支援者の実態と課題 - 2018年西日本豪雨 倉敷市真備町の事例から - 日本福祉のまちづくり学会 福祉のまちづくり研究, 第23巻, P15-24, 2021年12月1日

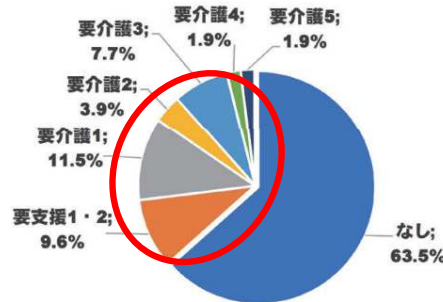
倉敷市の死者における 要介護度及び身体障害の程度

倉敷市の死者(災害関連死を除く)52人のうち、**要介護・要支援者が3分の1強(36.5%)**を占めた。「平成29年度介護保険事業状況報告(年報)」(厚生労働省)によると、平成29年度末現在における要介護(要支援)認定者数は641万人で全人口(126,502千人、平成30年4月1日現在=確定値)に占める割合は**5.1%**であり、これに比べ非常に高い数値となっている。

倉敷市の要介護度別死者数

要介護度	死者数(割合)
なし	33(63.5%)
要支援1・2	5(9.6%)
要介護1	6(11.5%)
要介護2	2(3.9%)
要介護3	4(7.7%)
要介護4	1(1.9%)
要介護5	1(1.9%)
合計	52(100%)

倉敷市の要介護度別死者数の内訳



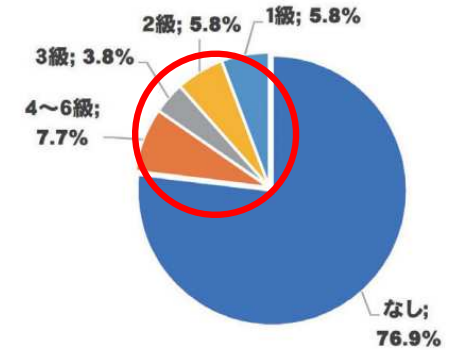
第2章 被害概要 - 岡山県 P64

倉敷市の死者における 要介護度及び身体障害の程度

倉敷市の身体障害の程度別死者数

身体障害の程度	死者数(割合)
なし	40(76.9%)
4~6級	4(7.7%)
3級	2(3.8%)
2級	3(5.8%)
1級	3(5.8%)
合計	52(100%)

倉敷市の身体障害の程度別死者数の内訳

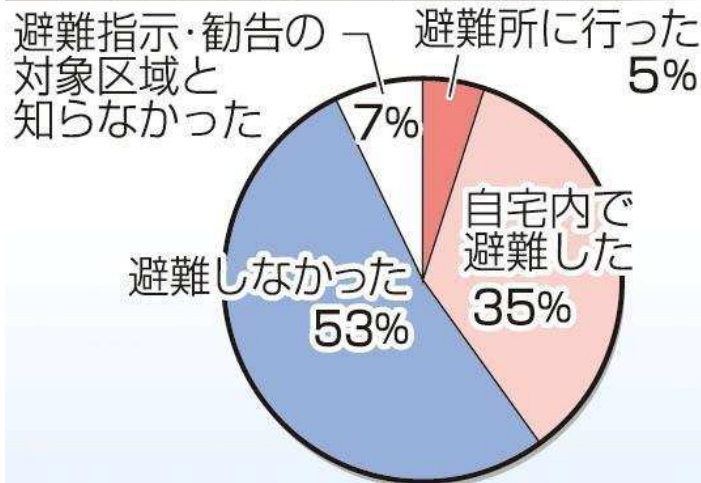


また、**身体障害者が約4分の1(23.1%)**を占めた。「平成30年版障害者白書」(内閣府)によると、身体障害者(身体障害児を含む)は436万人で全人口(126,529千人、平成30年7月1日現在=確定値)に占める割合は**3.4%**であり、この場合も、数値が非常に高くなっている。

第2章 被害概要 - 岡山県 P64

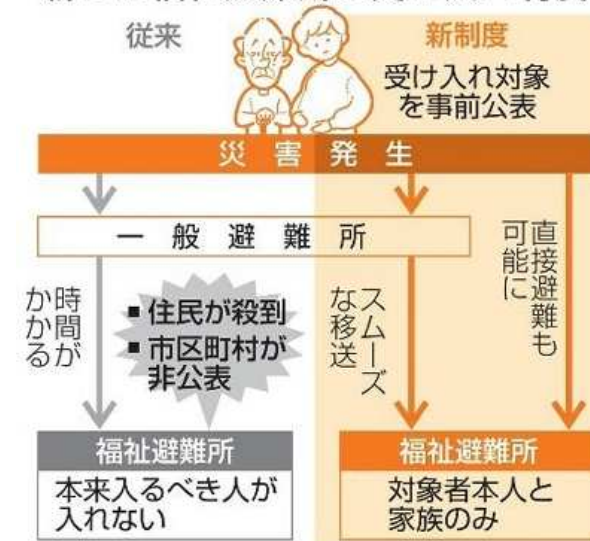
「自宅で避難」35% 豪雨の避難指示・勧告区域 で本紙調査 2018/7/20 神戸新聞NEXT

西日本豪雨での避難行動



アンケートは12日午後から15日午後にかけて、ツイッターで実施。避難指示・勧告が発令された後の行動を選択式で尋ね、兵庫県内外の848人が回答した。

内閣府「福祉避難所の確保・運営ガイドラインの改定」(2021年5月) 新しい福祉避難所の受け入れ制度



障害者らの避難計画づくり進まず
埼玉・千葉も1割未満
日本経済新聞 2022年8月3日

個別避難計画の作成済みは
全国で1割に満たない



愛知県(54市町村)
令和4年1月1日現在

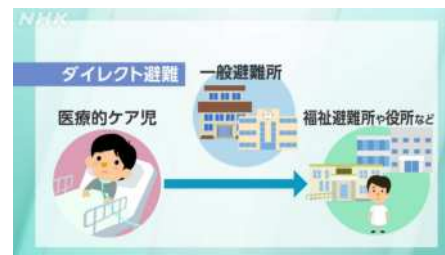
避難行動要支援者名簿及び個別避難計画の作成等に係る取組状況の調査結果, 令和4年6月28日
https://www.soumu.go.jp/main_content/000822486.pdf

(注)2022年1月時点。出所は総務省

	作製済み	一部作成	未作成		
			21年度中に着手	22年度中に着手	23年度以降に着手
市町村数	3	27	2	7	15
%	5.6	50.0	3.7	13.0	27.8

台風15号から3年 医療的ケア児らの“ダイレクト避難”は進むか

NHK千葉放送局 2022年09月07日



「ダイレクト避難」では、福祉避難所や市役所など、電源が確保できる避難先に直接避難します。多くの場合、医療的ケアは家族が行えるため、受け入れ側の負担は少なく、避難先の選択肢は増えるといえます。支援センターは、台風15号の経験も踏まえて市町村に説明を行い、1人1人に合わせた個別の計画の作成を促しています。

対策が進まない現状も……

千葉県は台風15号の翌年の2020年度から、習志野市と香取広域(香取市・神崎町・東庄町)、成田市をモデル地区として、対策を進めてきました。

しかし、これまでにダイレクト避難の計画ができたのは9人。計画の作成を目指しているのは子どもも大人も含めて県内に少なくとも1300人あまりいて、ごく一部にとどまっています。

自治体の複数の部署や避難先、当事者との細かい調整が必要なためです。

そうした中、国は去年5月にガイドラインを改定し、福祉避難所への直接の避難を「促進する」としています。さらに、あらかじめ避難所に受け入れる対象者を特定し、本人とその家族のみが避難する制度も作られ、今後は現場レベルで具体化させることが求められています。

被害想定報道だけを見てはわからない

「首都圏直下地震」被害想定(東京都, 2022年5月25日)

- 最大建物被害約19万4400棟、避難者約299万人、死者6148人
- この10年で、建築物の耐震・耐火が進み、被害は軽減

『地震直後には停電で人工呼吸器などが停止し死亡するおそれがあるほか、数日後からは車中泊によるエコノミークラス症候群などによる死亡が、そして、1か月以上あとには、慣れない環境での心や体の不調による自殺なども想定される』

直接死 < 災害関連死

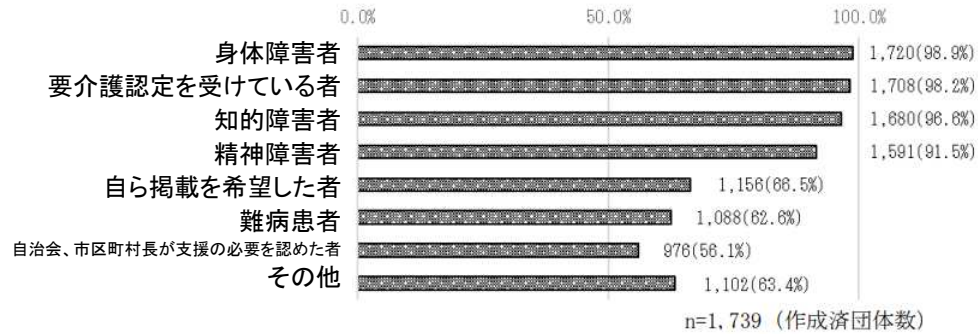
2004年 新潟県中越地震

直接死 16人 < 災害関連死 52人

2016年 平成28年熊本地震

直接死 50人 < 災害関連死 223人

地域防災計画に定める 避難行動要支援者名簿掲載者の範囲



避難行動要支援者名簿及び個別避難計画の作成等に係る取組状況の調査結果、令和4年6月28日
https://www.soumu.go.jp/main_content/000822486.pdf

避難行動要支援者 < 避難生活要支援者

Menu

- 災害と障害者
- 災害時の障害者と歯科
- 歯科における災害時対応の体制

災害時の歯科の役割

身元確認

- ご遺体の歯科的所見を採取する
- 生前歯科所見を収集する
- 照合して意見書を書く

連携先

警察
海上保安庁
監察医
など...

歯科医療

- 歯科医療提供体制を継続・なるべく早く復旧する
- **新たなニーズに対する応急歯科対応をする(救護所・避難所など)**

災害拠点Hp
DMAT/JMAT
日本赤十字社
災害医療Co
など...

歯科保健

- 地域の歯科保健管理を継続する
- **新たなニーズに対する歯科保健活動を行う(避難所・介護福祉施設・仮設住宅など)**

自治体/保健所
保健センター
地域の事業所
地域包括支援センター、など...

許容量を超えた避難所で予想される事態

避難者

生活リズム変化
集団生活のストレス
プライバシー欠如
睡眠の質・時間悪化
食物・飲料不足
排泄の制限

避難所運営者

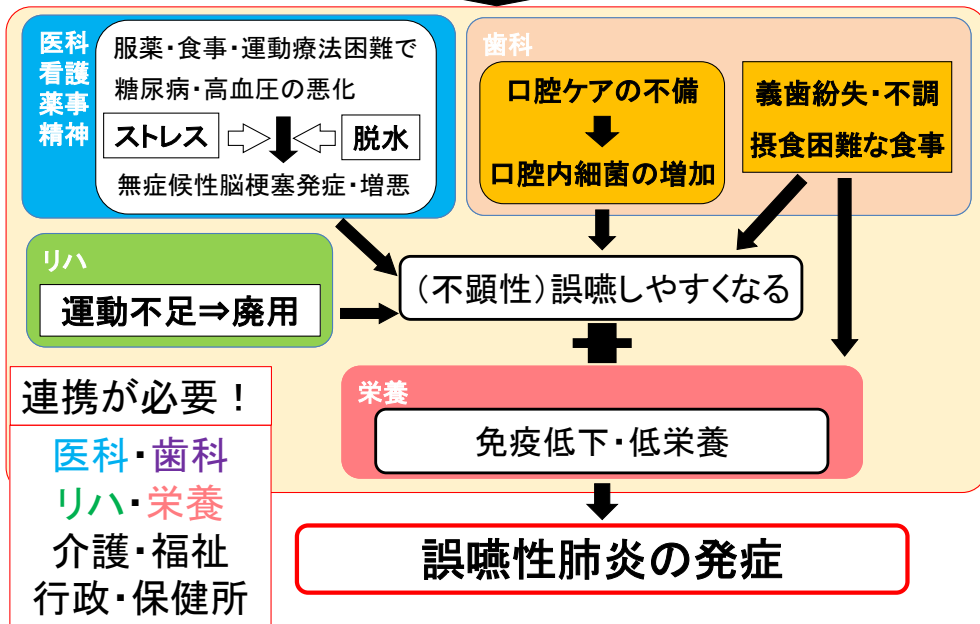
統制力不足
クレームへの対応
マンパワー不足
運営側の混乱
弱者への配慮不足

震災後肺炎の高リスク者

高齢者・要介護者
避難によりADL(日常生活動作)が低下した人
もともとADLが低下していた人
併存疾患(基礎疾患)を持っている人
低栄養
災害被害が大きい地区の人

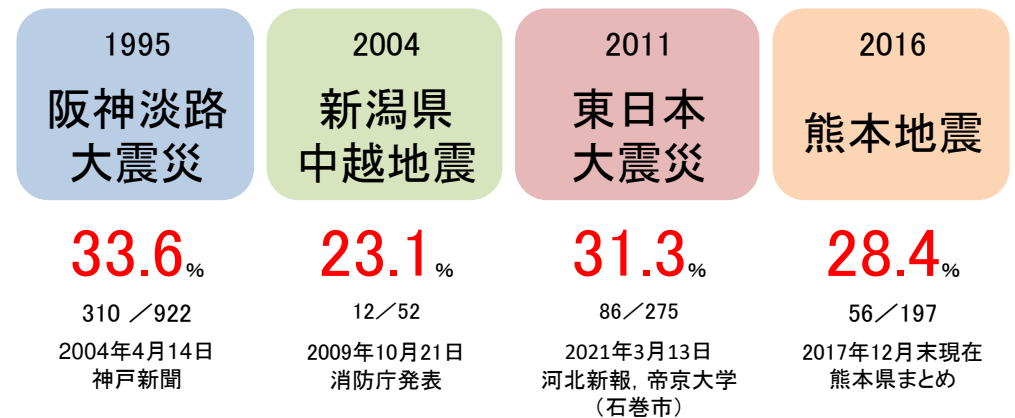
↓
続発症リスク増大

災害時の環境： ライフライン不備、食糧・水不足、睡眠・トイレ不足



避難所の歯科保健の重要性, 地域保健, 2022年7月号, P36より改変

呼吸器疾患＝災害関連死の30%



災害関連疾病の予防を目的とした災害時
要配慮者等に対する**健康支援活動が重要**

避難所の歯科保健の重要性, 地域保健, 2022年7月号, P36より改変

東日本大震災

障害者と 歯科

避難の状況

岩手・宮城・福島 of 大学病院障害者担当歯科を平成26年3～6月に受診した423名
(知的障害約55%, 自閉症約25%, 肢体不自由約10%)

避難の有無	あり					なし	無回答	合計
	一般避難所	福祉避難所	親戚知人宅	その他	小計			
T病院	19	9	19	10	57 (26.8%)	153 (71.8%)	3	213
I病院	1	0	6	3	10 (8.3%)	110 (91.7%)	0	120
O病院	2	0	12	3	17 (18.9%)	69 (76.7%)	4	90
合計	22	9	37	16	84 (19.9%)	332 (78.5%)	7	423

p<0.01 : Chi-square for independence test

震災後に自宅以外で避難生活をした人は, T病院57名(26.8%), I病院10名(8.3%), O病院17名(18.9%)と3病院間に有意差を認めた(p<0.01).

「避難なし」の回答の中には、「半壊した家の2階で過ごした」「自家用車の中で過ごした」などの記載もみられた。

避難場所では, 親戚知人宅(37名)が最も多く福祉避難所の回答があったのはT病院のみであった。

歯磨きの中断期間

岩手・宮城・福島の大学病院障害者担当歯科を平成26年3～6月に受診した423名
(知的障害約55%, 自閉症約25%, 肢体不自由約10%)

	なし	1～2日	3～7日	8～14日	15～30日	31日以上	できなくなった	無回答	合計
T病院	97 (45.5%)	17 (8.0%)	50 (23.5%)	9 (4.2%)	19 (8.9%)	4 (1.9%)	4 (1.9%)	13	213
I病院	89 (74.2%)	6 (5.0%)	20 (16.7%)	3 (2.5%)	1 (0.8%)	0	1 (0.8%)	0	120
O病院	62 (68.9%)	1 (1.1%)	6 (6.7%)	7 (7.8%)	2 (2.2%)	0	7 (7.8%)	5	90
合計	248 (58.6%)	24 (5.7%)	76 (18.0%)	19 (4.5%)	22 (5.2%)	4 (0.9%)	12 (2.8%)	18	423

p<0.01 : Chi-square for independence test

T病院97名(45.5%), I病院89名(74.2%), O病院62名(68.9%)は震災後に歯磨きができなかった期間はなかったと回答した。

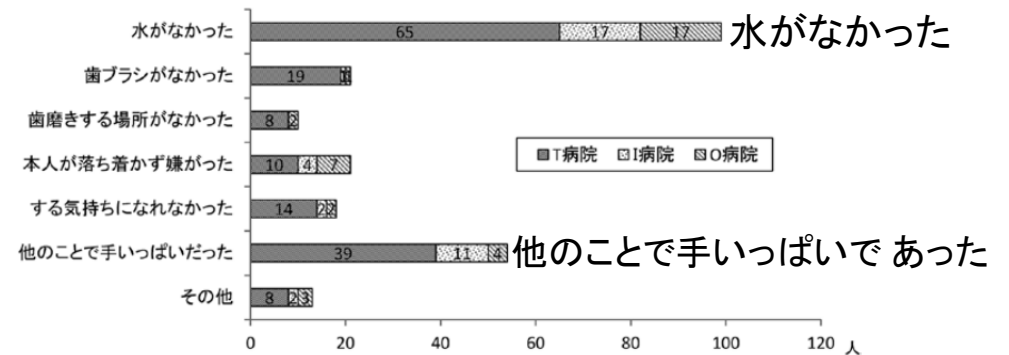
中断期間があっても、多くは1週間以内に普段の歯磨きができるようになったと回答したが、T病院では15日以上できなかったとの回答も10%以上みられた。

O病院では7名(7.8%)が普段の歯磨きができなくなったと回答した。中断期間の分布状況には3病院間に有意差がみられた(p<0.01)。

猪狩和子, 東日本大震災時の障害者の歯科口腔保健における動向とその支援, 障歯誌 37:119-126, 2016

歯磨きの中断理由

岩手・宮城・福島の大学病院障害者担当歯科を平成26年3～6月に受診した423名
(知的障害約55%, 自閉症約25%, 肢体不自由約10%)



歯磨きが中断した主な理由としては、「水がなかった」(99名)が最も多く、続いて「他のことで手いっぱいだった」(54名), 「本人が落ち着かず嫌がった」(21名), 「歯ブラシがなかった」(21名)が挙げられた。

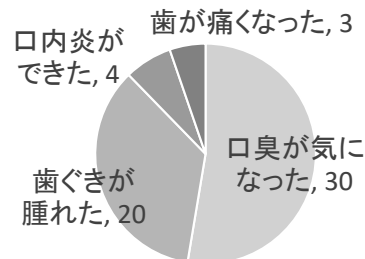
猪狩和子, 東日本大震災時の障害者の歯科口腔保健における動向とその支援, 障歯誌 37:119-126, 2016

震災3カ月後までの口腔状況

岩手・宮城・福島の大学病院障害者担当歯科を平成26年3～6月に受診した423名
(知的障害約55%, 自閉症約25%, 肢体不自由約10%)

震災3カ月後までの時期に、歯や口のことで困ったことがあった

T病院	35名(16.4%)
I病院	11名(9.2%)
O病院	11名(12.2%)



「震災3カ月後までの時期に、歯や口のことで困ったことがあったか」に対して、「あった」と回答したのはT病院35名(16.4%), I病院11名(9.2%), O病院11名(12.2%)であり、3病院間での割合に有意差がみられた(p<0.05)。

「あった」と回答した合計57名の内容は、「口臭が気になった」(30名), 「歯ぐきが腫れた」(20名)が多く, 「歯が痛くなった」(3名), 「口内炎ができた」(4名)は少なかった。

猪狩和子, 東日本大震災時の障害者の歯科口腔保健における動向とその支援, 障歯誌 37:119-126, 2016

歯科支援の状況

岩手・宮城・福島の大学病院障害者担当歯科を平成26年3～6月に受診した423名
(知的障害約55%, 自閉症約25%, 肢体不自由約10%)

震災3カ月後までの間で歯科の支援を受けた

T病院	11名(5.2%)
I病院	4名(3.3%)
O病院	5名(5.5%)

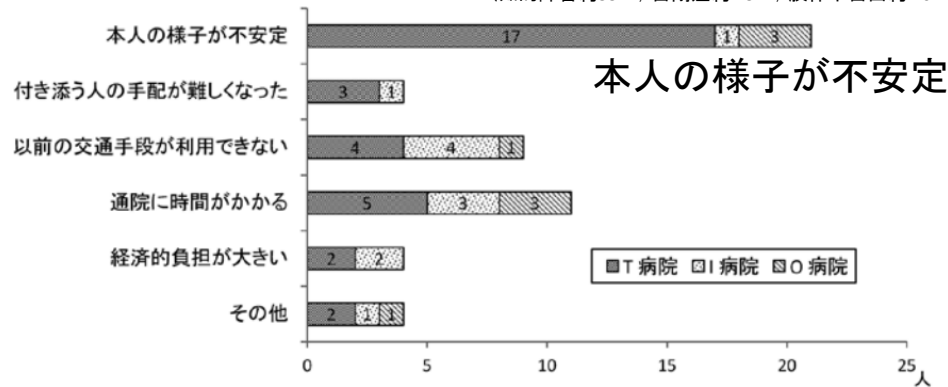
震災3カ月後までの間で歯科の支援を受けたと回答した人は、T病院11名(5.2%), I病院4名(3.3%), O病院5名(5.5%)とわずかであった。この質問に対しては「わからない」との回答も7%程度みられた。

20名が受けた支援の内容として挙げたのは、「口腔ケア用品の提供」が16名であり, 「避難所・施設で口腔ケア」3名と「巡回歯科診療」1名はいずれもT病院での回答であった。

猪狩和子, 東日本大震災時の障害者の歯科口腔保健における動向とその支援, 障歯誌 37:119-126, 2016

震災後の歯科受診時の困りごと

岩手・宮城・福島の大学病院障害者担当歯科を平成26年3～6月に受診した423名
(知的障害約55%, 自閉症約25%, 肢体不自由約10%)



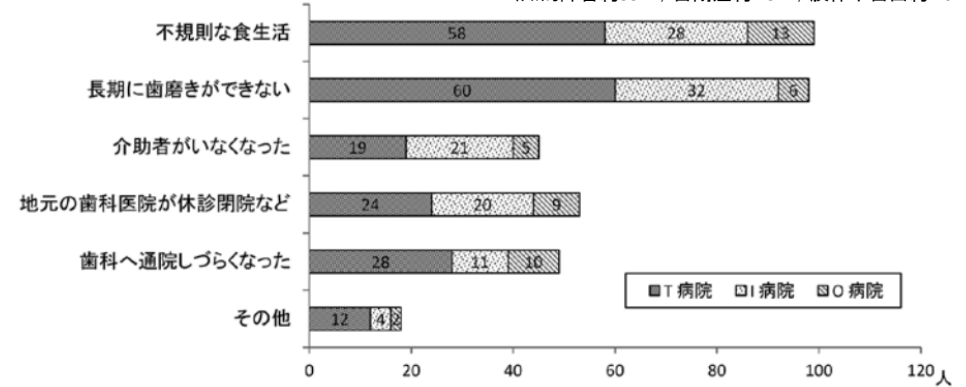
本人の様子が不安定

「震災後の歯科受診に困りごとがある」と回答したのはT病院27名(12.7%), I病院9名(7.5%), O病院3名(3.3%)であり, その割合に3病院間で有意差を認めた(p<0.05). T病院の27名の回答者の17名は「本人の様子が不安定になった」ことを選択した. 他には「通院に時間がかかるようになった」(合計11名), 「以前の交通手段が利用できなくなった」(合計9名)が困りごととして挙げられた.

猪狩和子, 東日本大震災時の障害者の歯科口腔保健における動向とその支援, 障歯誌 37:119-126, 2016

口腔保健への震災の影響

岩手・宮城・福島の大学病院障害者担当歯科を平成26年3～6月に受診した423名
(知的障害約55%, 自閉症約25%, 肢体不自由約10%)



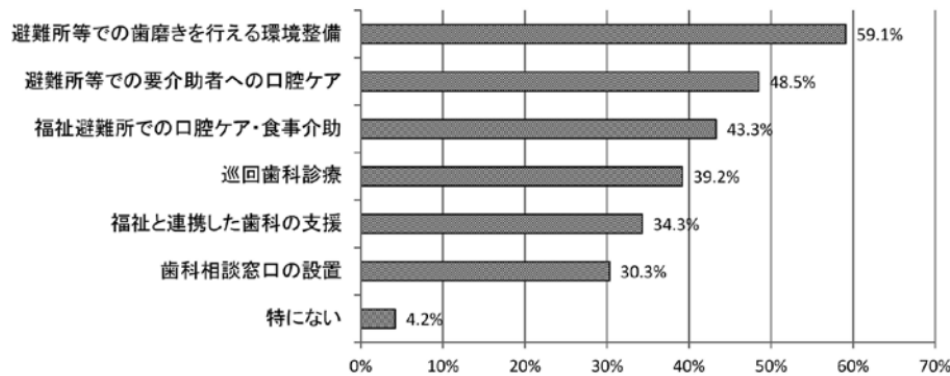
「震災が口腔保健に影響を及ぼしたと思うか」との質問に対しては, T病院105名(49.3%), I病院53名(44.2%), O病院38名(42.2%)と, どの病院でも約半数が「思う」と回答し, 有意差はみられなかった.

全体では, 「食生活が不規則になった」(99名)ことと「長年に歯磨きができなかった」(98名)ことが影響したと考える人が多かった(図3).

猪狩和子, 東日本大震災時の障害者の歯科口腔保健における動向とその支援, 障歯誌 37:119-126, 2016

大災害時に歯科に期待すること

岩手・宮城・福島の大学病院障害者担当歯科を平成26年3～6月に受診した423名
(知的障害約55%, 自閉症約25%, 肢体不自由約10%)



大災害時に歯科に期待することとして, 「避難所等で歯磨きが行える環境整備」(59.1%)が最も多く選択され, 次に「避難所等における介助を必要とする人の口腔ケア実施」(48.5%), 「福祉避難所等における口腔ケア・食事介助等の実施」(43.3%)と続いた.

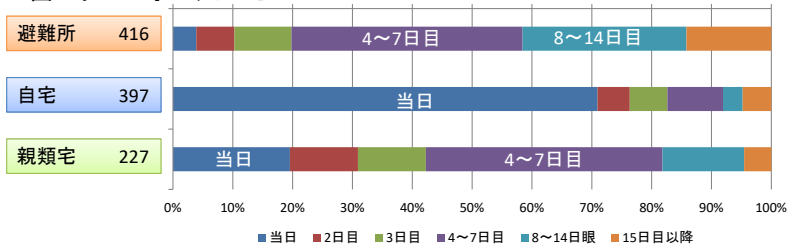
猪狩和子, 東日本大震災時の障害者の歯科口腔保健における動向とその支援, 障歯誌 37:119-126, 2016

東日本大震災

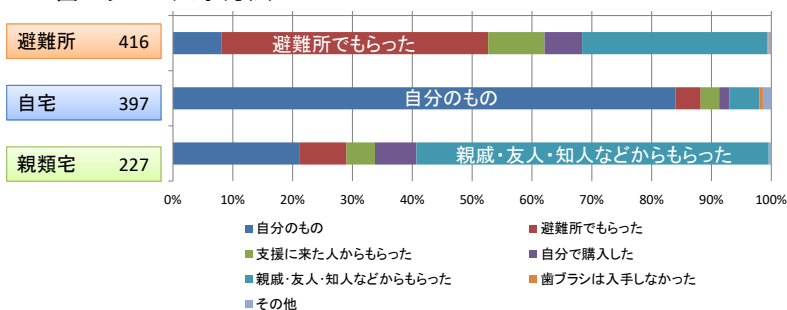
歯科支援の到達性

支援の格差

はじめて歯ブラシが手に入った日

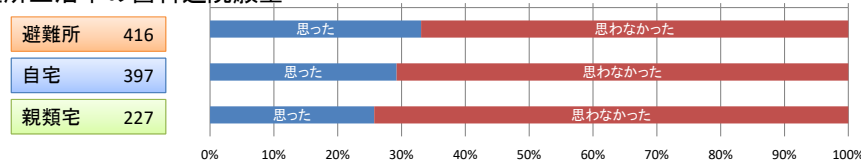


はじめての歯ブラシの入手方法

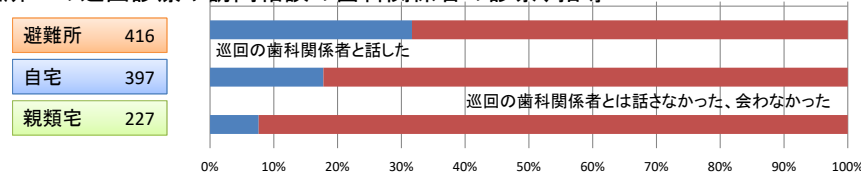


支援の格差

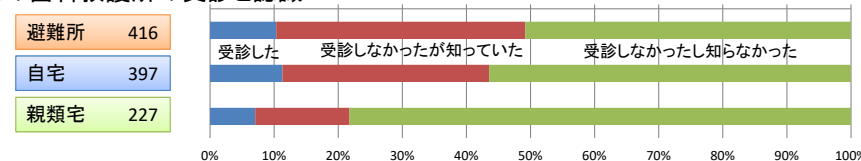
避難所生活中の歯科通院願望



避難所への巡回診療や訪問相談の歯科関係者の診察、指導



町内の歯科救護所の受診と認識



みんなで守って! 災害時の知的障がい者

このきっかけが踏み出す勇気に

NPO法人 ぽっとハウス 地域活動支援センター 菅原 紀子 平福

日本大震災の時、ぽっとハウスからぽっとハウスまで、自分たちの思いを伝える活動が盛り上がり、地域の絆が深まりました。私たちが活動しているのは、被災地から避難してきた方々です。私たちが活動しているのは、被災地から避難してきた方々です。私たちが活動しているのは、被災地から避難してきた方々です。

避難が必要となる災害が発生した場合の支援のお願い

避難が必要となる災害が発生した場合、避難先での生活が困難な場合があります。避難先での生活が困難な場合があります。避難先での生活が困難な場合があります。

発行: NPO法人(特定非営利活動法人)ぽっとハウス

〒110-8541 東京都港区赤坂1-1-1 ぽっとハウス 1F

TEL: 03-6321-9121

受付時間: 月曜～日曜 10:00～16:00

このウェブサイトは、障害者によるコンテンツ制作の取組の一環として制作されました。

知的障がい者は、もしもの時こんなことに困ります

知的障がいは、見た目ではわかりやすく、困っていても周りが気が付かないことがあります。もし災害時、こんな行動をとっている人を見たら、助けが必要かもしれません。

- 不安: 避難先で立ちくらむ/嘔吐/泣く
- あっちこちウロウロ: 色んな場所でも、迷うところ、迷うところ、迷うところ
- 周りの危険がわかりにくい: 危険な場所でも、迷うところ、迷うところ、迷うところ
- 大声で叫ぶ/身動してしまふ: 恐怖でパニック/不安な状態
- どうしていいかわからず/わからない: トイレに行きたいのかわからない/モジモジする/前を押さえる

知的障がい者の特徴

知的障がいのある人は判断力や記憶力が弱く、時間や場所の判断が難しく、危険を察知しにくい場合があります。災害時には、周囲の人の動きや音に敏感に反応する場合があります。

移動の時

知的障がいがあるため、災害時の状況が理解できず、ピンと来ない場合があります。自分では避難先がわからないため、安全な場所に行けていない場合があります。

避難先で…

スペースについて: 避難先での生活は、スペースが狭く、ストレスを感じやすい場合があります。また、避難先での生活は、スペースが狭く、ストレスを感じやすい場合があります。

知的障がい者とのコミュニケーションに役立つもの

避難先での生活は、コミュニケーションが大切になります。避難先での生活は、コミュニケーションが大切になります。

安心するもの

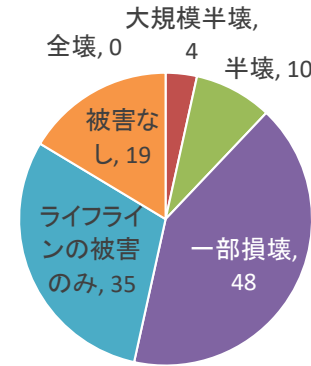
パニックになっている時や一人で居るときに、自分が安心できるものがあると、安心して過ごせる場合があります。

「熊本地震の直後の、障がいのある方々の生活と歯科」に関するアンケート調査結果まとめ(18歳未満)

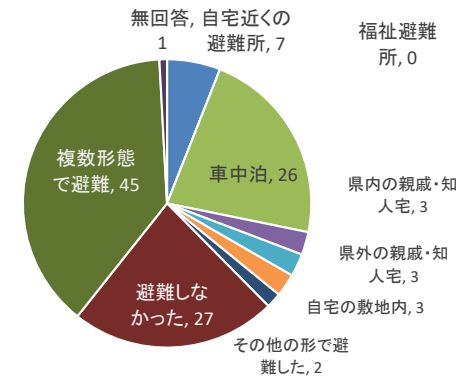
対象

- 下記に来所した**知的・発達障害児者**およびご家族
 - 熊本市歯科相談事業
 - (一社)熊本県歯科医師会口腔保健センター
 - 放課後等デイサービス ぶーやん
- 調査期間: 2017年8月7日～9月10日の5週間

自宅の被災状況 n=116

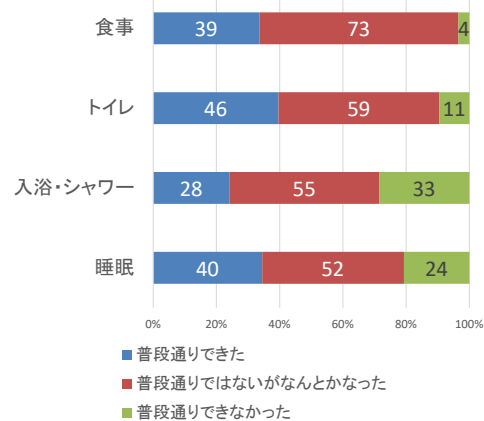


避難状況 n=116

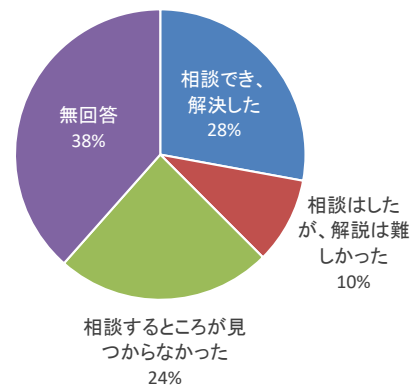


回答者の半数は自宅に大きな被害はなかったが、余震の恐怖などから車中泊を選択したという人が多かった。一時期遠隔避難したり、車中泊の場所(会社・避難所・自宅敷地)が変わったりと、時期に応じて避難形態を変えた人も4割近かったが、**福祉避難所を利用した人はいなかった。**

避難生活中の、食事や生活などの困りごと n=116

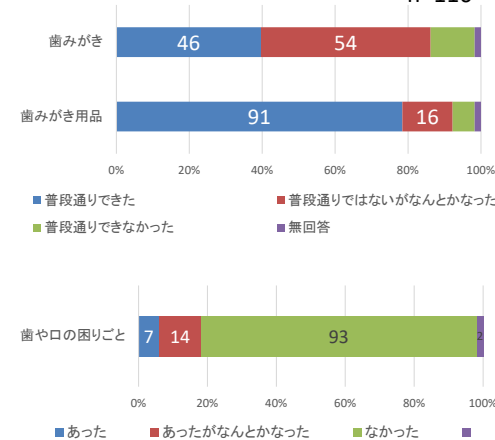


食事や生活の困りごとの相談はできたか n=104

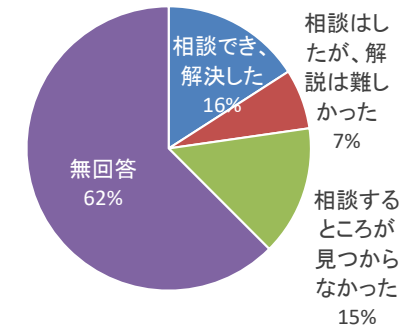


避難生活中に、食事や生活などの困りごとがあった人は半数以上おり、多くが自助努力でなんとかしていた。回答者の中では、そのうち6割がどこかに相談できていた。

避難生活中の、歯や口のこと n=116



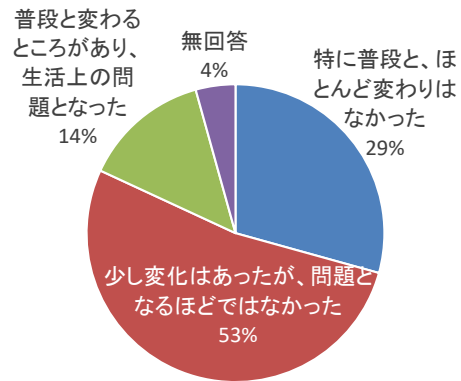
歯や口の困りごとの相談はできたか n=88



歯みがきや、その用品は、8割ではなんとかあった。避難生活中に歯や口の困りごとがあった人は2割程度だった。食事や生活と同様に、回答者の中では、困りごとがあったうちの6割がどこかに相談できていた。

本人に普段と違う様子が あったか

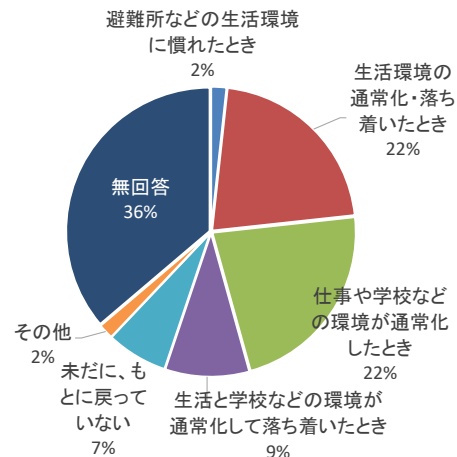
n=116



何かしらの変化があった人が多く、14%は生活上の問題となるほどだった。それらの変化が、未だに戻っていないという人も7%いた。

本人の心や行動が元に戻ったと感じた時期

n=116



【結果】

- 障害児者の変化として、「過敏や吃音などの症状がひどくなった」「トイレに行けなくなった」「食事を食べなくなった」「ストレスから爪をはがしていた」などが出たが、生活環境が元に戻るとともに症状は落ち着いている場合が多かったものの、それ以降戻らず困っている例もあった。
- 避難にあたっての問題点は、「一般の避難所では落ち着かずに難しい」「見た目では特性を理解していただけない」「並んで待つことができないので受け入れられなかった」などがあげられ、車中泊や遠隔避難を選択せざるを得なかった背景がうかがえた。

- 歯科の問題点としては、「水や歯ブラシがなく歯みがきできなかった」「緊張から表情も固まり車中泊の間は歯ぎしりをしていた」「口内炎ができたり歯肉炎がひどくなった」などが挙げられた。
- 防災対策としては、「ガムや口腔ケア用ウェットティッシュを常備しておけばよかった」などの備蓄の大切さをあげたものが多かった。「口腔機能改善の体操やマッサージをしてあげればよかった」という反省もあった。
- 支援に対しては、「**かかりつけ歯科から案じた電話をいただき嬉しかった**」「工夫する方法などを避難所などに掲示してほしい」という支援提案とともに、「**慣れた歯科でなければ口を開かない人も多い**」と難しさも指摘された。

【考察】

- 東日本大震災以降、災害時の障害児者への配慮は福祉避難所の整備や関係団体・自治体からの対応マニュアルの発行などを通じて進められてきたが十分であったとは言えず、見直しがなされている。
- 歯科保健活動も、より早期により広範に行われる体制が構築されることが望ましい。
- 食事や生活の困りごとと同様に、歯や口の困りごとでも6割が相談できていたが、残り4割の方々は相談先がなかった。
- 車中泊や遠隔避難など、アプローチの困難な状態になることも少なくなく、平時よりの関係づくりが重要である。

【結論】

災害時には、歯科ニーズの有無にかかわらず、適切な物資や情報を届けるための活動が必要と考えられた。平時よりの関係性が活用されていると考えられ、災害時にもこれを継続できるような体制づくりが重要である。

【謝辞】

調査に回答いただきました障害児者およびご家族の方々、そして、ご協力いただきました組織・職員の皆様に、深謝いたします。

なお、本調査は学校法人神奈川歯科大学研究倫理委員会「熊本地震における歯科支援に関する研究」(承認番号第447番)の一環として行い、第34回日本障害者歯科学会総会・学術大会(2017年10月28日・29日、福岡国際会議場)にて発表しました。

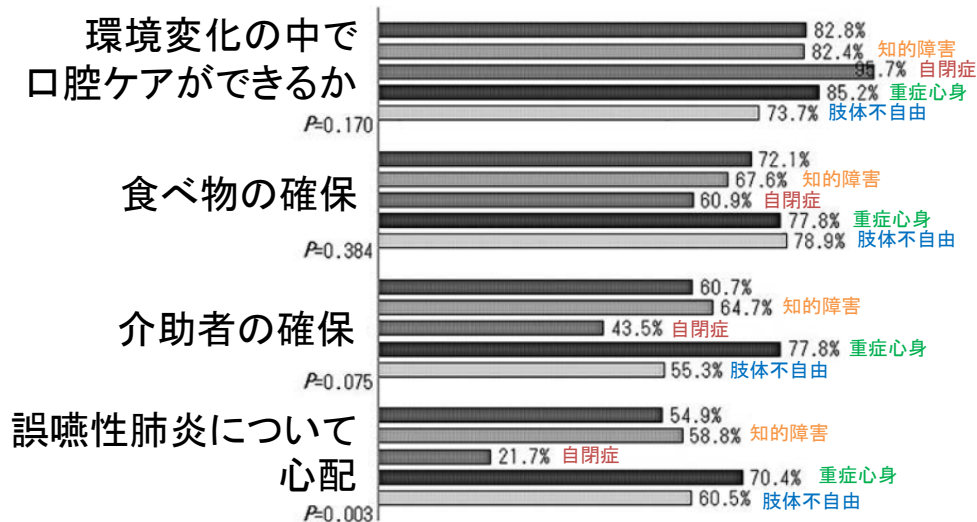
※ 開示すべきCOI関係にある企業・団体等はありません

大災害時に

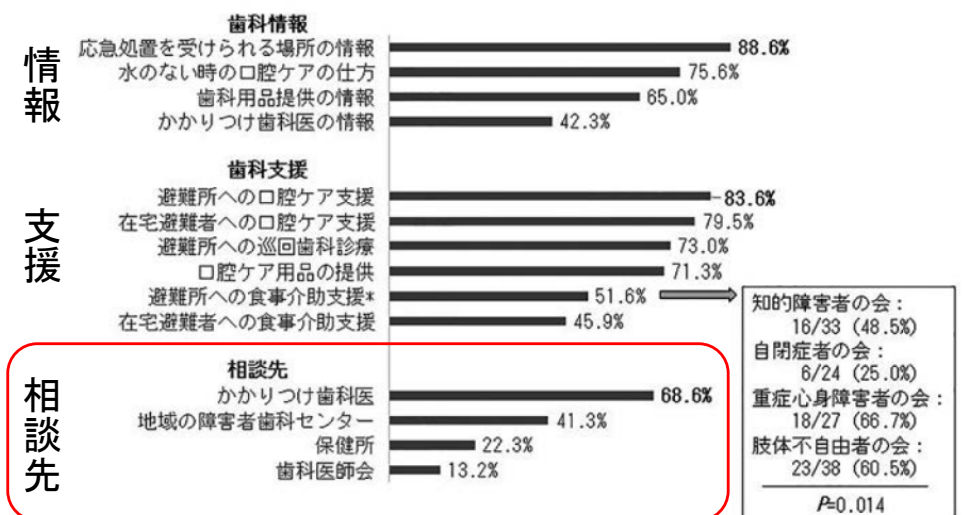
歯や口のことで心配されること

大災害時に歯や口のことで心配されること

■全体 ■知的障害者の会 ■自閉症者の会 ■重症心身障害者の会 ■肢体不自由者の会



大災害時に必要な 歯科情報・歯科支援および相談先



Menu

- 災害と障害者
- 災害時の障害者と歯科
- 歯科における災害時対応の体制

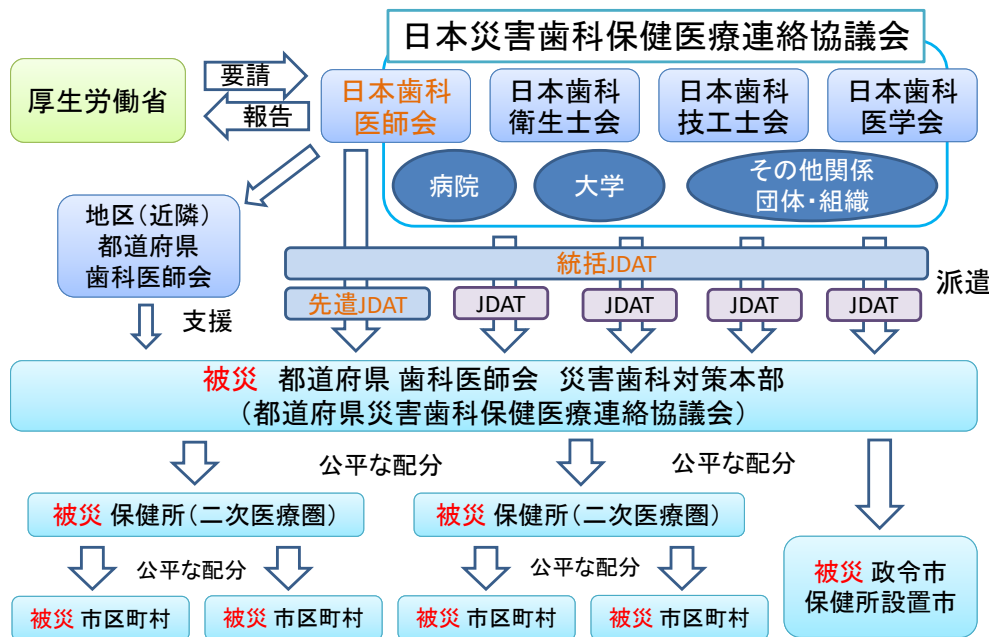
JDAT (Japan Dental Alliance Team : 日本災害歯科支援チーム)

【目的・趣旨】

JDAT (Japan Dental Alliance Team : 日本災害歯科支援チーム) は、災害発生後おおむね72時間以降に**地域歯科保健医療専門職**により行われる、緊急災害歯科医療や避難所等における口腔衛生を中心とした**公衆衛生活動**を支援することを通じて被災者の健康を守り、地域歯科医療の復旧を支援すること等を目的としている。

災害歯科保健医療連絡協議会(2021年11月), 災害歯科保健医療標準テキストP133, 一世出版様

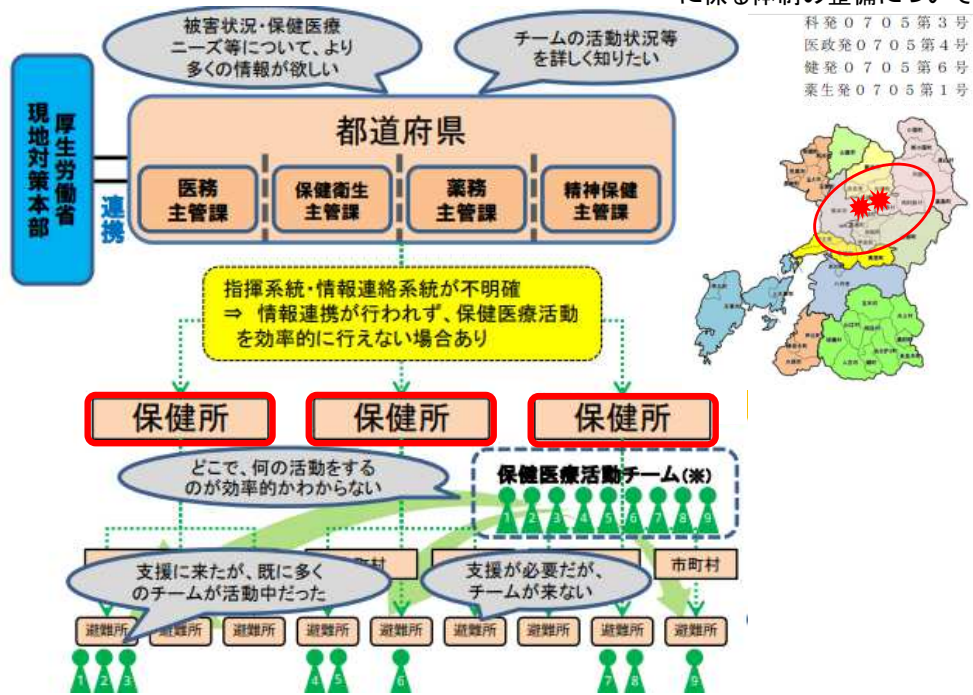
発災時のJDAT(支援・統括・先遣)派遣の流れ



(参考資料) 大規模災害時の保健医療活動に係る体制の整備について



熊本地震における課題と原因

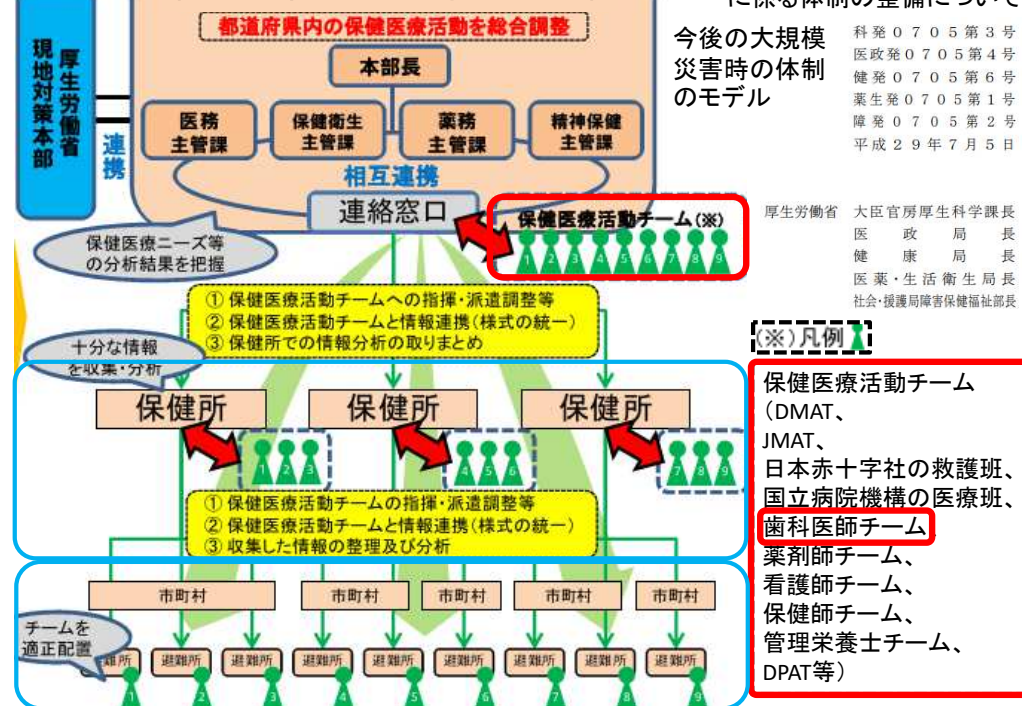


大規模災害時の保健医療活動に係る体制の整備について

科発0705第3号
医政発0705第4号
健発0705第6号
薬生発0705第1号



都道府県 保健医療調整本部



大規模災害時の保健医療活動に係る体制の整備について

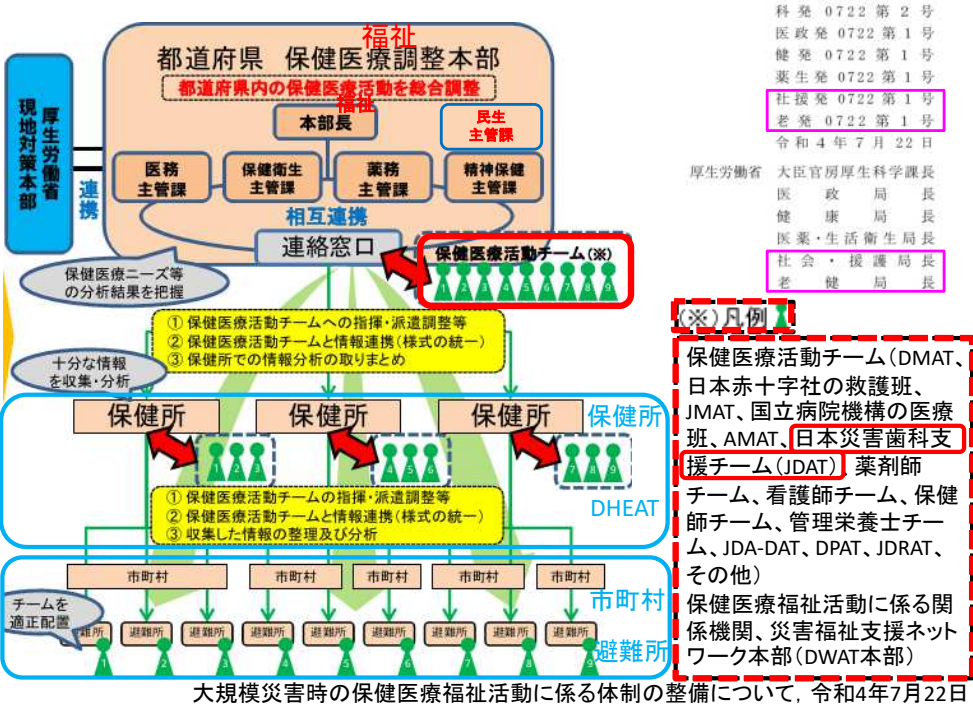
科発0705第3号
医政発0705第4号
健発0705第6号
薬生発0705第1号
障発0705第2号
平成29年7月5日

厚生労働省 大臣官房厚生科学課長
医政局長
健康局長
医薬・生活衛生局長
社会・援護局障害保健福祉部長

(※)凡例

保健医療活動チーム (DMAT、JMAT、日本赤十字社の救護班、国立病院機構の医療班、**歯科医師チーム**、薬剤師チーム、看護師チーム、保健師チーム、管理栄養士チーム、DPAT等)

大規模災害時の保健医療福祉活動に係る体制の整備について



科発0722第2号
医政発0722第1号
健発0722第1号
薬生発0722第1号
社援発0722第1号
老発0722第1号
令和4年7月22日

厚生労働省 大臣官房厚生科学課長
医政局長
健康局長
医薬・生活衛生局長
社会・援護局
老健局長

(※)凡例

保健医療活動チーム (DMAT、日本赤十字社の救護班、JMAT、国立病院機構の医療班、AMAT、**日本災害歯科支援チーム(JDAT)**、薬剤師チーム、看護師チーム、保健師チーム、管理栄養士チーム、JDA-DAT、DPAT、JDRAT、その他)
保健医療福祉活動に係る関係機関、災害福祉支援ネットワーク本部 (DWAT本部)

大規模災害時の保健医療福祉活動に係る体制の整備について、令和4年7月22日

大規模災害時の保健医療福祉活動に係る体制の整備について



科発0722第2号
医政発0722第1号
健発0722第1号
薬生発0722第1号
社援発0722第1号
老発0722第1号
令和4年7月22日

厚生労働省 大臣官房厚生科学課長
医政局長
健康局長
医薬・生活衛生局長
社会・援護局
老健局長

(※)凡例

保健医療福祉活動に係る関係機関、災害福祉支援ネットワーク本部 (DWAT本部)

大規模災害時の保健医療福祉活動に係る体制の整備について、令和4年7月22日

JDAT 平常時・災害時

平常時

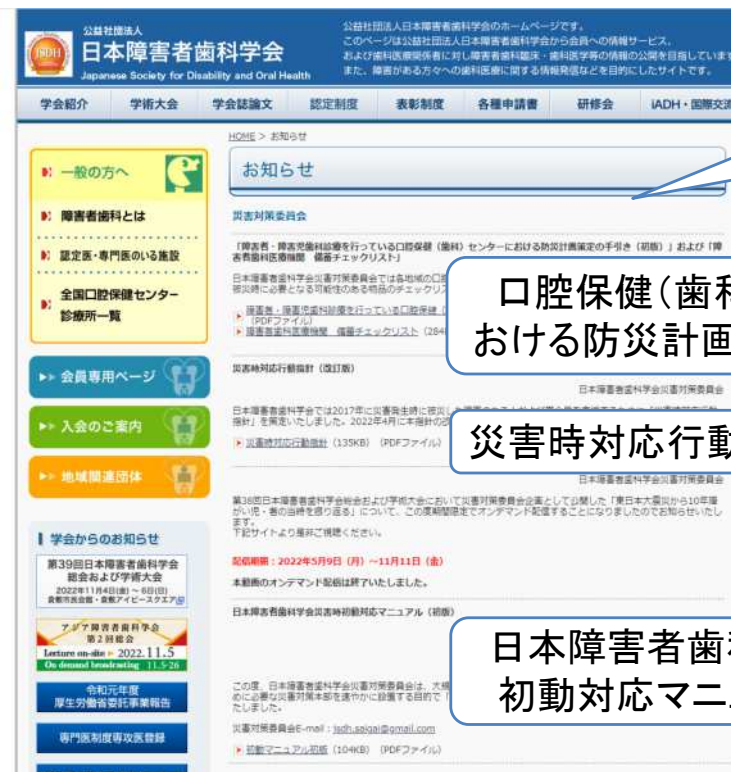
- 研修と、体制整備
- 地域の災害対策や防災訓練に積極的に参画

被災時

- 地域の情報を繋ぐ
- 必要時は支援チームの派遣要請を提言
- 現地支援活動コーディネーターとして受援

災害時

- 緊急災害歯科医療や避難所等における口腔衛生を中心とした公衆衛生活動を支援
- JMATなどの医療チームの歯科との連携



災害対策委員会

口腔保健(歯科)センターにおける防災計画策定の手引き

災害時対応行動指針(改訂版)

日本障害者歯科学会災害時初動対応マニュアル(初版)



お悔み文

口腔保健センター等もしくは、学会事務局まで

平成30年7月豪雨

災害時も口腔ケアは大切です!

日本障害者歯科学会からのお知らせ

このたびは平成30年7月豪雨により、被災された皆様によりお見舞い申し上げます。また、食と口、食へる事について困り事があられたら、近くのかかりつけ歯科医、障がい児者の歯科診療を行う大学や口腔保健センター等とは、学会事務局までお問い合わせください。

現在、本学会が、被災されている県民の方々の歯科診療を行っている口腔保健(歯科)センターや大学病院で遠隔診療を実施している状況については、学会ホームページよりご確認いただけます。診療時間等の詳細については、各施設のホームページなどでご確認ください。

日本障害者歯科学会	http://www.kokuhoken.or.jp/jdoh-hp/html/
広島大学病院 障害者歯科	https://www.hiroshima-u.ac.jp/hosp
広島口腔保健センター	http://www.hpdca.or.jp/khc.html
広島県立障害者リハビリテーションセンター	http://www.rehab-hiroshima.org/

東日本大震災の時に障がいのある方たちは...

障がいの種類	割合
聴覚障害	40%
知的障害	20%
身体障害	15%
発達障害	10%
精神障害	5%
その他	10%

震災が口腔保健に影響を及ぼしたと思いませんか?

被災による影響(複数回答)

影響の種類	割合
食へる機能が低下した	45%
歯の痛みが増した	30%
歯垢や歯石が増した	25%
歯のむしりが増した	15%
歯の抜け落ちが増した	10%
その他	15%

困りごとの内訳(1か月後)

困りごとの種類	割合
食へる機能が低下した	45%
歯の痛みが増した	30%
歯垢や歯石が増した	25%
歯のむしりが増した	15%
歯の抜け落ちが増した	10%
その他	15%

被災後、肺炎の発症が心配です

食へる機能が飲み込む機能が十分でない障がいのある方への口腔ケアは重要です

最大の予防方法は、「口腔ケア」です

- ①ご本人専用の歯ブラシやスポンジブラシを使用してください
- ②うがいのできない方へは、マウスウォッシュをスポンジブラシやキッチンペーパーに吸わせて、口腔内をぬぐってあげてください
- ③保湿剤を利用して口腔乾燥を予防しましょう

平成30年10月胆振東部地震

障がいのある方々にとって 災害時も口腔ケアは大切です!

北海道障がい者歯科学会・日本障害者歯科学会からのお知らせ

被災された皆様によりお見舞い申し上げます。障がいのある方々の食と口、食へる事について困りごとがありましたら、お近くのかかりつけ歯科医、障がい者歯科医療協力医、障がいのある方の歯科診療を行う大学や口腔保健センター等にお問い合わせください。

日本障害者歯科学会
<http://www.kokuhoken.or.jp/jdoh-hp/html/>

北海道障がい者歯科医療協力医
<https://doushi.net/hsski/index.html>

東日本大震災の時に障がいのある方たちは...

障がいの種類	割合
聴覚障害	40%
知的障害	20%
身体障害	15%
発達障害	10%
精神障害	5%
その他	10%

震災が口腔保健に影響を及ぼしたと思いませんか?

被災による影響(複数回答)

影響の種類	割合
食へる機能が低下した	45%
歯の痛みが増した	30%
歯垢や歯石が増した	25%
歯のむしりが増した	15%
歯の抜け落ちが増した	10%
その他	15%

困りごとの内訳(1か月後)

困りごとの種類	割合
食へる機能が低下した	45%
歯の痛みが増した	30%
歯垢や歯石が増した	25%
歯のむしりが増した	15%
歯の抜け落ちが増した	10%
その他	15%

被災後、肺炎の発症が心配です

食へる機能が飲み込む機能が十分でない障がいのある方への口腔ケアは重要です

最大の予防方法は、「口腔ケア」です

- ①ご本人専用の歯ブラシやスポンジブラシを使用してください
- ②うがいのできない方へは、マウスウォッシュなどをスポンジブラシやキッチンペーパーに吸わせて、口腔内をぬぐってあげてください
- ③保湿剤を利用して口腔乾燥を予防しましょう

● 災害対策委員会企画

大規模災害被災地での歯科支援 ～障がい児・者を含めたネットワークづくりを！

11月6日(日) 10:05～11:35 C会場(倉敷アイビースクエア 1F オパール)

座長

松尾 浩一郎(東京医科歯科大学大学院地域・福祉口腔機能管理学分野)

河瀬 聡一郎(石巻市雄勝歯科診療所)

演者

服部 清(公益社団法人日本障害者歯科学会 災害対策委員会)

小玉 剛(公益社団法人日本歯科医師会)

小前 みどり(公益社団法人日本歯科衛生士会)

鈴木 史郎(社会福祉法人 全国社会福祉協議会)

体制づくり

日本障害者歯科学会
災害対策委員会

- 障害者・障害児歯科診療を行っている口腔保健(歯科)センターに対するアンケート実施(2017年)
- 学会災害時行動指針の作成(2017年)
- 学会災害時初動対応マニュアル(2019年)
- 障害者団体に対するアンケート実施
- 障害者・障害児歯科診療を行っている口腔保健(歯科)センターにおける防災計画策定初版日本障害者歯科学会の手引き(2022年)
- 障害者歯科医療機関 備蓄チェックリスト(2022年)

服部 清, 日本障害者歯科学会における、災害時の体制づくりと連携の可能性, 第39回日本障害者歯科学会学術大会, 2022年11月6日, 倉敷

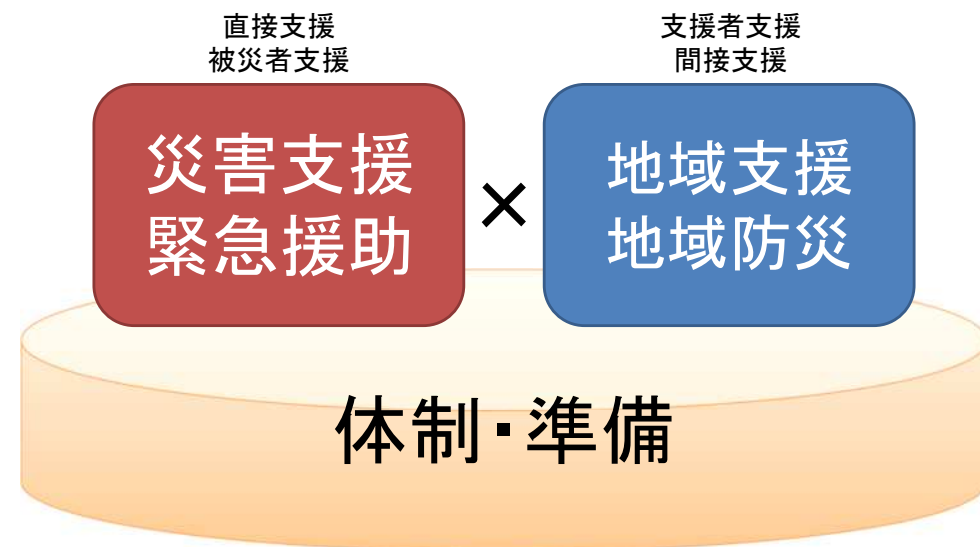
委員会企画

日本障害者歯科学会
災害対策委員会

- 熊本地震に学び大災害時の対応を考える(2016年)
- 大規模災害時に学会や委員会は、どのような活動を行えばいいのか
 - ー相次いだ災害における学会としての対応を検証し、課題解決を考えるー(2018年)
- 障害者歯科医療機関がすべき災害への備え(2019年)
 - ーセンターへ実施した実態調査を踏まえてー
- 支援者ととともに考える障がい者歯科医療機関の災害対策(2020年)
- 東日本大震災から10年 障がい児者の当時を振り返る(2021年)

服部 清, 日本障害者歯科学会における、災害時の体制づくりと連携の可能性, 第39回日本障害者歯科学会学術大会, 2022年11月6日, 倉敷

災害対応 → 対策・防災





お近くの方々にも
お伝えください
配布等に
許諾はス

いつもの生活を
取りもどす！



いつもの生活を
続けられる
準備をしよう！

熊本地震で被災された皆さまへ
いつもの生活を
取りもどすための
役立つ情報まとめ

政府からのお知らせ
2016年4月28日発行
2016年5月12日更新
2016年5月18日更新

災害の「備え」チェックリスト



監修/内閣府防災統括官(防災担当)、内閣府男女共同参画局

非常用持ち出し袋 避難の際に持ち出すもの！

- 水
 - 食品
(ご飯(アルファ米など)、レトルト食品、ビスケット、チョコ、乾パンなど：最低3日分の用意)
 - 防災用ヘルメット・防災ずきん
 - 衣類・下着
 - レインウェア
 - 紐なしのズック靴
 - 懐中電灯(※手動充電式が便利)
 - 携帯ラジオ(※手動充電式が便利)
 - 予備電池・携帯充電器
 - マッチ・ろうそく
 - 救急用品
(ばんそうこう、包帯、消毒液、常備薬など)
 - 使い捨てカイロ
 - ブランケット
 - 軍手
 - 洗面用具
 - 歯ブラシ・歯磨き粉
 - タオル
 - ペン・ノート
- 感染症対策にも有効です!! —
- マスク
 - 手指消毒用アルコール
 - 石けん・ハンドソープ
 - ウェットティッシュ
 - 体温計
- 一緒に持ち出そう!! —
- 貴重品
(通帳、現金、パスポート、運転免許証、病院の診察券、マイナンバーカードなど)

- ### 子供がいる家庭の備え
- ミルク(キューブタイプ)
 - 使い捨て哺乳瓶
 - 離乳食
 - 携帯カトラリー
 - 子供用紙オムツ
 - お尻ふき
 - 携帯用お尻洗浄機
 - ネックライト
 - 抱っこひも
 - 子供の靴

- ### 女性の備え
- 生理用品
 - おりものシート
 - サニタリーショーツ
 - 中身の見えないごみ袋
 - 防犯ブザー/ホイッスル

- ### 高齢者がいる家庭の備え
- 大人用紙パンツ
 - 杖
 - 補聴器
 - 入れ歯
 - 入れ歯用洗浄剤
 - 男性用吸水パッド
 - デリケートゾーンの洗浄剤
 - 持病の薬
 - お薬手帳のコピー

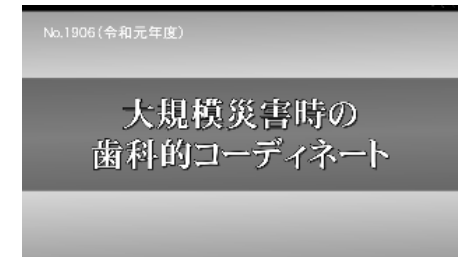
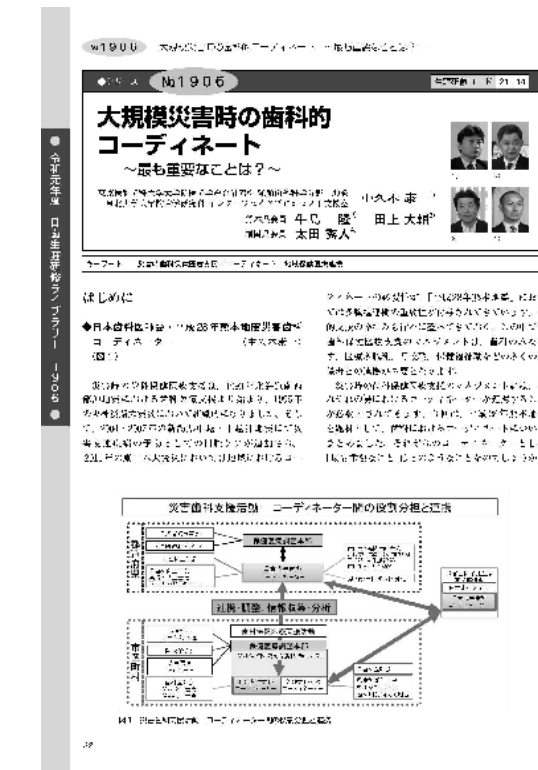
- ### 備蓄品
- お家に備えておくもの！
- 食料や水(最低3日分!できれば1週間分) × 家族分
保存期間の長いものを多めに買って置き、消費したら補充するという習慣にしていれば、常に食料の備蓄が可能!
 - 生活用品
例えば、ティッシュ、トイレトペーパー、ラップ、ゴミ袋、ポリタンク、携帯用トイレ…など

ほかにも、家庭で必要なものは日ごろから備えておきましょう

災害対策のキーワード

- 普段通り
- 普段をどこに設定するのか
- いかに普段通りをキープするのか

誰にでも いつでも 健康で幸せに生活する 機会のある社会を



日歯会員の方は無料で受講できるはず
ぜひ、スタッフとともに、
ご視聴ください

日歯Eシステム
生涯研修ライブラリー

日本歯科医師会 国民のみなさま 歯科医師のみなさま 日本歯科医師会

歯科医師とは セミナー 各種資料等 歯科医師・学生 E-system 女性歯科医師

HOME 英語 ENGLISH キーワード検索 検索 メンバーズルームログイン

HOME > 歯科医師のみなさま > 災害歯科医療対策について

○ 災害歯科医療対策について

- JDAT (日本災害歯科支援チーム)
- 災害歯科保健医療体制研修会事前研修 (eラーニング)
- 災害歯科保健医療体制研修会
- 災害歯科保健医療アドバンス研修会
- 日本災害歯科保健医療連絡協議会
- 日本歯科医師会の災害対策
- 計画・規格等
- 災害時の歯科保健医療、普及強固に関する格闘法
- 都道府県歯科医師会が所属している指定等
- アクションカード・アセスメント票
- 避難所掲示・配布用がスター機
- これまでの災害対応レポート
- 災害歯科コーディネーター研修会
- 災害歯科保健医療・身元確認講習会
- 日本HP 関連情報

災害歯科医療対策について

全国の歯医者と
協業

テーマパーク8020

日吉8020 (パナソニック) テレビ

高のめき方を探そう!

よびさん

JDAT (日本災害歯科支援チーム)

目的・趣旨

災害歯科保健医療体制研修会事前研修 (eラーニング)

受講・研修登録はこちらから

研修受講にあたっての注意事項

※必ず「注意事項」を読んでから受講・研修登録を行ってください。

令和4年度 災害歯科保健医療体制研修会 事前研修 (eラーニング)

令和4年度災害歯科保健医療体制研修会事前研修 (eラーニング)

研修ID	研修名称	研修内容	研修時間	研修形式	研修ステータス
01	災害歯科保健医療体制研修会事前研修 (eラーニング)	災害歯科保健医療体制研修会事前研修 (eラーニング)	15分	動画	完了
02	災害歯科保健医療体制研修会事前研修 (eラーニング)	災害歯科保健医療体制研修会事前研修 (eラーニング)	15分	動画	完了
03	災害歯科保健医療体制研修会事前研修 (eラーニング)	災害歯科保健医療体制研修会事前研修 (eラーニング)	15分	動画	完了
04	災害歯科保健医療体制研修会事前研修 (eラーニング)	災害歯科保健医療体制研修会事前研修 (eラーニング)	15分	動画	完了
05	災害歯科保健医療体制研修会事前研修 (eラーニング)	災害歯科保健医療体制研修会事前研修 (eラーニング)	15分	動画	完了
06	災害歯科保健医療体制研修会事前研修 (eラーニング)	災害歯科保健医療体制研修会事前研修 (eラーニング)	15分	動画	完了
07	災害歯科保健医療体制研修会事前研修 (eラーニング)	災害歯科保健医療体制研修会事前研修 (eラーニング)	15分	動画	完了
08	災害歯科保健医療体制研修会事前研修 (eラーニング)	災害歯科保健医療体制研修会事前研修 (eラーニング)	15分	動画	完了
09	災害歯科保健医療体制研修会事前研修 (eラーニング)	災害歯科保健医療体制研修会事前研修 (eラーニング)	15分	動画	完了
10	災害歯科保健医療体制研修会事前研修 (eラーニング)	災害歯科保健医療体制研修会事前研修 (eラーニング)	15分	動画	完了
11	災害歯科保健医療体制研修会事前研修 (eラーニング)	災害歯科保健医療体制研修会事前研修 (eラーニング)	15分	動画	完了
12	災害歯科保健医療体制研修会事前研修 (eラーニング)	災害歯科保健医療体制研修会事前研修 (eラーニング)	15分	動画	完了
13	災害歯科保健医療体制研修会事前研修 (eラーニング)	災害歯科保健医療体制研修会事前研修 (eラーニング)	15分	動画	完了
14	災害歯科保健医療体制研修会事前研修 (eラーニング)	災害歯科保健医療体制研修会事前研修 (eラーニング)	15分	動画	完了
15	災害歯科保健医療体制研修会事前研修 (eラーニング)	災害歯科保健医療体制研修会事前研修 (eラーニング)	15分	動画	完了
16	災害歯科保健医療体制研修会事前研修 (eラーニング)	災害歯科保健医療体制研修会事前研修 (eラーニング)	15分	動画	完了

公益社団法人 日本歯科衛生士会 English お問い合わせ サイト

一般の方へ

日本歯科衛生士会概要 入会案内 研修・学習・認定 歯科衛生士より・学生日より 日本

災害時、私たちにできること

被災者の避難生活で生じます。登録の

共通書式などは全てこちらに載っています 歯科医師もこちらからご確認ください

Link: 災害歯科保健医療体制研修会事前研修 (eラーニング)

被災状況に合わせて歯科衛生士の支援活動を円滑に行うための実践マニュアルです。基本姿勢や平時の備え、現場での具体的な行動手順などをまとめました。

PDF: 災害歯科保健医療体制研修会事前研修 (eラーニング) 歯科衛生士実践マニュアル2021

マスクをしたままでもできる お口の体操

～ 唇や舌、頬などの筋肉アップをすることは全身の健康へとつながります。美味しく安全に食べて健康に過ごしましょう ～

①唇をとがらせて前に突き出す ②左右しっかりと引く ③大きく開ける 唇を閉じ、唇の内側で舌をぐるぐる回す

①唇をふくらます ②唇をへこませます ③左右交互に頬をふくらます ④唇をしっかりと閉じ上下交互に唇をふくらます

開口訓練: ①口を最大限に大きく開ける ②10秒間 保持する ③10秒間 やすむ ④②③を繰り返す

前舌保持嚙下訓練 (ペロ出しごっこ): ①舌を少し前に出し、唇を閉じる (舌を強く咬まないよう注意し、まじょう) ②そのまま、つばをゴックンと飲み込む

食前や空き時間に 5回～10回 行いましょう

空気を通らさないようにするのがポイントです!

食べ物を食べながら行うは いけません

※上手にできるようにになったら「3秒間」を「10秒間」に、徐々に時間を延ばして練習してみてください

日本歯科衛生士会 English お問い合わせ サイト

一般の方へ

日本歯科衛生士会概要 入会案内 研修・学習・認定 歯科衛生士より・学生日より 日本

マスクをしたままでもできるお口の体操(動画)

「マスクをしたままでもできるお口の体操」

食前や空き時間に 5回～10回 行いましょう

会場: 日本 東京都 東京都立大学 歯学部 歯学部 歯学部 歯学部

講師: 日本歯科衛生士会 研修部長 日本歯科衛生士会 研修部長

イラスト: 日本歯科衛生士会

いつかのもしものために、いまできる学びを。

コンテンツ DH-KEN 災害歯科保健 公開中!!

災害が発生したとき、歯科衛生士としてできること、すべきことは。本コンテンツでは、災害支援の枠組みや地域保健活動の観点をはじめ、災害時の歯科の役割と歯科衛生士の活動の実践、多職種との連携の取り方などを、幅広くフォローしています。いつかのもしものに備えて、いまできる学びがここにあります。

多彩なテーマが小分けで学びやすい! DH-KENの災害歯科保健

災害時の保健医療支援とは	担当	時間
災害と支援の枠組み	奥田 博子	23分
災害時の地域保健	奥田 博子	13分
災害時の被災者の心理	奥田 博子	23分
災害時の歯科支援の仕組み		
災害時の歯科の役割と推進	中久木 真一	15分
災害支援における歯科衛生士の役割	久保山 裕子	16分
災害時の歯科衛生士の活動の実践	久保山 裕子	13分
災害時の歯科口腔ケアシステムの体系化/実践(地域)	中久木 真一	17分
災害時の歯科口腔ケアの実践(個人)	中久木 真一	17分
災害時の支援における連携		
災害時保健活動における多職種との連携	久保山 裕子	23分
被災者の心情に配慮した歯科保健活動	中久木 真一	17分
災害時保健活動における「食べる」支援	中久木 真一	13分

約3時間

DH-KENは、公益社団法人日本歯科医師会、日本歯科衛生士会の協賛のもと運営されています。インターネットでいつでもどこでも学べます。



災害歯科保健

1 災害時の保健医療支援とは

- 災害と支援の枠組み
- 災害時の地域保健
- 災害時の被災者の心理
- 災害時の歯科の役割と実践/災害支援における歯科衛生士の役割
- 災害時の歯科衛生士の活動の実践
- 災害時の歯科口腔ケアシステムの体系化/実践(地域)
- 災害時の歯科口腔ケアの実践(個人)

これ全て見て学んだ方は、日衛に登録されます

歯科衛生士 2970円
日衛正会員 1782円
歯科医師その他 4455円

今日を愛する。
LION
製品情報 「今日を愛する。」レポート

災害時の清潔・健康ケア情報



災害時の清潔・健康ケア (印刷)

災害時の手の清潔、オーラルケアについてご案内し、最新情報をお届けします。

災害時の清潔・健康ケア

災害時は、避難所生活や水不足など、生活していく上で衛生上のリスクが高まるため、体を清潔に保ち、健康に留意することが重要です。体力のないお子様や高齢の方は特に注意が必要です。

災害時の手の清潔

多くの人が入り出りする避難所などでは、いつもより手が汚れがちです。手を清潔に保ちましょう。

災害時のオーラルケア

オーラルケアが不十分だと、ムシ歯や歯肉炎、感染症や歯痛など発生などのリスクも高まります。

▶ ハブラシがないとき 歯を磨くには歯ブラシ以外には歯ブラシの代わりにはないものがあります。

▶ ハブラシがあるとき 歯を磨くには歯ブラシ以外には歯ブラシの代わりにはないものがあります。

▶ お子様を歯磨きしたいこと

▶ 入れ歯をお使いの方は

災害時の清潔・健康ケア (印刷) 約3時間

非常時持ち出し品チェックリスト

災害時に備えてはならないのは「お口の健康」です。

災害時のための清潔・健康ケアBOOK

方

覚えてください、防災にオーラルケア。

健康は、おうち、からだ。災害時の備えにオーラルケアを。

SUNSTAR 防災

監修: 神戸常盤大学短期大学部 口腔保健学 足立平先生
提供: 一般財団法人 サンスター財団、サンスターループ

歯みがき、お口のケアはあなたの命を守ります!

肺炎を防ぐために歯みがきを!

- お口が清潔でないとお口の細菌が増殖し、肺炎になりやすく、全身の病気の悪化につながります。
- 高齢者は特に注意が必要です

入れ歯をきれいにし肺炎を防ぎましょう

- お口を清潔に保つには入れ歯のお手入れが大事です。
- 食後に入れ歯をきれいにしましょう。
- 夜寝るときは入れ歯をはずしましょう

ハブラシがないとき

- 食後に少量の水やお茶でうがいをします
- ハンカチやティッシュで歯の汚れをとるのも効果があります

だ液を出す工夫を

- だ液はお口の中をきれいに保つには欠かせません
- 耳の下、ほお、あごの下の手でもんだり、あたためると、だ液が出やすくなります

水が少ないときの歯みがき

- 約30mlの水を用意
- 水でハブラシをぬらして水のかわりに歯みがきします
- 含む間にハブラシの汚れをティッシュでふきとります
- コップの水を少しずつお口に含み、2~3回にかけて、すすぎます

液体ハミガキ、洗口液があれば、水のかわりにお使いください(水のすすぎは不要)

うがい薬もお口を清潔に保つのに効果的です

Mouth & Body Topics VOL.3

健康な口 健康な身体

人々の健康を口から守る

～災害時の急性性肺炎予防の事例から～

中久木 康一 東京歯科大学大森キャンパス 歯学部口腔外科 准教授
足立了平 東京歯科大学大森キャンパス 口腔保健学 助教授

好評の『Mouth & Body』をさらに発展させた、災害時の急性性肺炎予防の事例から、人々の健康を口から守るための具体的な対策を伝える。災害時の急性性肺炎予防の事例から、人々の健康を口から守るための具体的な対策を伝える。災害時の急性性肺炎予防の事例から、人々の健康を口から守るための具体的な対策を伝える。

地域保健 7 2022

災害時の保健活動を再考する

避難所の現状と課題

保健活動の現状と課題を再考する

わたがいの避難所の課題
災害時に母を支えるために
避難所の歯科保健の重要性
JRATについて
命を守る避難所のトイレ対策
避難所での性的マイノリティの人々を取り巻く課題

23 地域保健 2022

避難所の現状と課題

避難所の現状と課題

避難所の現状と課題を再考する

わたがいの避難所の課題
災害時に母を支えるために
避難所の歯科保健の重要性
JRATについて
命を守る避難所のトイレ対策
避難所での性的マイノリティの人々を取り巻く課題

35 地域保健 2022

医歯薬出版

歯科医院の防災対策ガイド

1000冊 1冊

災害対策委員会

砂書房

歯科における災害対策

防災と支援

編集 中久木 康一

砂書房

災害歯科保健医療
標準テキスト
2021年12月発刊！

2015年6月15日発刊
一世出版
2000円！

災害時の歯科保健医療対策

連携と標準化に向けて

監修 中久木 康一
 監修 足立 了平
 編集 泉 寛一
 編集 中久木 康一

緊

災害歯科保健医療
標準テキスト

2016年7月10日発刊
クインテッセンス出版
1800円！

災害歯科医学

2018年2月1日発刊
医歯薬出版 7,200円

災害歯科保健医療

標準テキスト

編集 日本歯科医師会・災害歯科保健医療連絡協議会
発行 一世出版株式会社

2021年12月24日発売！
 一世出版
 本体2,900円(税込み 3,190円)

Contents

はじめに	
第1章 災害歯科保健医療	
1. 災害歯科保健医療概論	12
2. 災害歯科支援チームの構築に向けて ～関係機関・団体における連携の重要性～	20
3. 保健医療支援におけるロジスティクス担当者役割	28
4. 災害時における歯科医師会の対応	34
5. 災害時の歯科保健医療活動 ～目的、評価、発展～	40
第2章 歯における災害対応	
1. 大規模災害時における政府の初期対応について	50
2. 災害時における保健医療の対応	54
3. 厚生労働省における災害医療体制	62
4. 警察官・自衛隊における災害派遣活動	70
第3章 活動における連携・共有	
1. 災害時の歯科保健医療活動 ～歯科医師における役割分担、参加機会の連携～	76
2. 日本医師会の災害対応	82
3. サイコロジカル・ファーストエイド ～心理的応急処置：PFA～	96
4. 歯科医師のための災害復興法学のすすめ	104
第4章 災害時における防災確認	
1. 歯科における防災確認体制	114
2. 警察における大規模災害時等の多数検身体制について ～歯科医師による防災確認の重要性～	126
3. 海上保安庁における検身確認	128
参考資料	
・JDAT 目的、趣旨	133
・施設・避難所等 歯科口腔保健 ラビッドアセスメント書 (筆田、浩彦)	134
・歯科保健医療支援アクションカード	136
・Q&A集	142
・用語集	145

メーリングリスト
各種書式・パンフレット
研修媒体動画
研修会資料・動画

ポスター・パンフレット	記録票・資料	研修教材	研修会記録	書籍・報告書	ML登録
-------------	--------	------	-------	--------	------

2015年6月15日発行
一世出版
A3判 2000円

目的

災害時に歯科口腔保健に必要な知識・技術を習得し、必要に応じて、必要な歯科口腔支援を届けるため、具体的・実践的な研修教材の開発と標準化に向けて、個人が集まり、よりよい災害時公衆衛生歯科のための提言を出し、それを広めることに意義や目的として、下記などがあげられる。

- 1) 災害時の歯科保健の標準化などの提案を出していくシンクタンク
- 2) 災害時の多職種連携での対応のあり方を探り体制を構築していく実行部隊
- 3) 研修の題材やスタイルを作成し、それを試行し完成させていく場
- 4) 必要であれば出張研修の依頼を受ける母体

設立の経緯

災害医療に係わる保健所機能の強化が検討されている中、災害時公衆衛生歯科研究会（平成25年7月27日、盛岡）にて

書籍・研究報告書など

研修会動画・配布資料など

研修動画・活動動画・研修準備資料など

アセスメント票・アクションカード・パンフ・ポスターなど

日本災害時公衆衛生歯科研究会
ML登録係
jsdphd-admin@umin.net

日本災害時公衆衛生歯科研究会
Japanese Society for Disaster Public Health Dentistry (DPHD)

ポスター・パンフレット	記録票・資料	研修教材	研修会記録	書籍・報告書	ML登録
-------------	--------	------	-------	--------	------

事務局

お問い合わせ

リンク

- 日本歯科医師会
- 日本歯科衛生士会
- 日本歯科技工士会
- 国立保健医療科学院 歯つとサイト
- 東北大学 RIDE5 災害口腔科学分野
- 徳島川歯科大学 災害歯科医療連携推進サイト

研修教材のお知らせ

- 災害災害歯科保健 Disaster Oral Health [YouTube]
- 災害時の歯科保健支援演習 (DHUG III) 研修資料
- DH-KEN[歯科衛生士のためのeラーニングサイト]
- ハザードマップ作成手順

本研究会HPはリンクフリーですが、転載は禁止しています。

日本災害時公衆衛生歯科研究会 (DPHD) ホームページに掲載しています。転載不可としています。リンクは自由なリンクです。できればご一報いただけますと助かります。

災害歯科保健 Disaster Oral Health [YouTube]

- 災害歯科保健 Disaster Oral Health [YouTube]

※YouTubeにリンクが飛びます

- 災害歯科 個別複数アセス記載 セルフワーク
 - 個別複数アセス記載 アセスメント全体の概要
 - 個別複数アセス記載 セルフワーク事前解説
 - 個別複数アセス記載 事例1+事例1の解説
 - 個別複数アセス記載 事例2+事例2の解説
 - 個別複数アセス記載 記載の注意事項
- 災害時の避難所における歯科保健医療個別アセスメント
 - Scene 1 高齢の女性
 - Scene 2 幼児がいる女性
 - Scene 3 歯が痛い男性
 - Scene 4 高齢の母とその娘
 - Scene 5 じっとしている男性
 - Scene 6 高齢者の介護者
- 活動記録紹介動画
 - 2016年 熊本地震
 - 2017年 九州北部豪雨

災害歯科保健 Disaster Oral Health [YouTube]

●災害歯科保健 Disaster Oral Health [YouTube]
※YouTubeにリンクが飛びます

	<p>○ 災害歯科 個別複数アセス記載 セルフワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別複数アセス記載 アセスメント全体の概要 ・個別複数アセス記載 セルフワーク事前解説 ・個別複数アセス記載 事例1+事例1の解説 ・個別複数アセス記載 事例2+事例2の解説 ・個別複数アセス記載 記載の注意事項
	<p>○ 災害時の避難所における歯科保健医療個別アセスメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Scene 1 高齢の女性 ・Scene 2 幼児がいる女性 ・Scene 3 歯が痛い男性 ・Scene 4 高齢の母とその娘 ・Scene 5 じっとしている男性 ・Scene 6 高齢者の介護者
	<p>○ 活動記録紹介動画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2016年 熊本地震 ・2017年 九州北部豪雨

日本歯科衛生士会
協力

動画 5分
1カ月の活動の流れ

動画 10分
組織的間の役割分担や準備

http://eagerdental.jimdo.com/

nakakuki@biglobe.jp

@女川温泉ゆぽっぽ